



4期目当選後、2回目の本会議質問（23日午後2時頃）

土地購入へ、ニコンとの交渉実現（解体中のニコン大井製作所）

コミュニティバス運行へ、実施へ道を開く

区議会定例会がはじまりました

ニコン大井製作所の跡利用について、なかつか亮区議は「特養ホームや認可保育園など福祉施設や避難所スペースなど公園整備に向け、ニコンに対し土地購入に向けた交渉開始を」と提案。品川区は「ニコンからは解体後の利用は未定と聞いているが、土地を売却する場合には、区に声をかけてほしいとニコン側に伝えた」との考えを示しました。

（金）本会議にて。こ

答弁は9月23日

これは、区が解体中のニコン建物における土地購入について、交渉を開始したもので、福祉施設や公園整備に向けた土地の確保へ、大きな一歩となるものです。

アンケートの声

共産党が実施した住民アンケートには、特養ホームや認可保育園、避難所スペースや緑豊かな公園などの要望が強く寄せられています。住民の声や生活の実態を区政に届け、暮らしを支える区政の実現に引き続き頑張ります。



本会議の自席から再質問

品川でもコミュニティバス運行を「現時点では考えてない」と将来への実施へ道を開く

生活にとっても便利なバス路線。中でも街を細かく循環するコミュニティバスは23区で品川区と目黒区を除く19区が何からの形で実施。高齢者や子どもをおんぶする子育て世代にとって買い物や病院、友達との交流に欠かせない交通手段です。住民アンケートでも「どうして品川にはコ

ミュニティバスが無いのか」「品川は遠くに行くのは楽だが、近場がとても不便な所だ」と声が寄せられ、区議会にも署名が繰り返し提出されています。

本会議で改めてコミュニティバス運行を提案。区は「现阶段では考えていない」と答弁。これは、将来の実現へ道を開くものです。一歩一歩かもしれませんが、しかし着実に区政は動いています。一刻も早い実現へ力をあわせましょう。

来年度の品川区議会『海外調査』予算要望には盛り込まれず

9月21日の議会運営委員会にて議長より、議会費における来年度予算要望が説明され、自民党が求めていた「海外調査費」が予算要望に盛り込まれませんでした。事実上、来年度の海外調査の実施中止が実現です。

議会費における予算要望とは、各会派が意見を出し、議長が取りまとめ、示されるものです。（共産党は委員会室の磁気ループ設置や議会棟入口の案内板設置等を要望。こちらは予算要望に盛り込まれました）

自民党は「調査研究後に行われる海外調査費」を昨年より要求し、区議会による単独海外調査の復活を狙っていました。いっぽう、共産党は必要性や緊急性など税金の使い方の問題を指摘し、反対しました。

議論を踏まえ、結果、予算要望に海外調査が盛り込まれなかったことは、税金の使い方に対する厳しい住民世論が反映したものです。今後とも、品川区議会の海外調査を復活させないために力を尽くします。

なかつか亮



事実上、来年度中止が実現

次回の『無料法律相談会』は下記の日程で行います

急な生活相談など、ご相談はお気軽にご連絡下さい

11月25日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**

なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅